

## 株主メモ

|                  |   |   |                 |   |
|------------------|---|---|-----------------|---|
| <b>事業年度</b>      | 4月1日～翌年3月31日  |   |                 |   |
| <b>剰余金の配当基準日</b> | 期末配当<br>中間配当  | 3月31日<br>9月30日  |                 |   |
| <b>定時株主総会</b>    | 毎年6月下旬  |   |                 |   |
| <b>単元株式数</b>     | 100株  |   |                 |   |
| <b>株主名簿管理人</b>   | 東京都中央区八重洲一丁目2番1号<br>みずほ信託銀行株式会社   |   |                 |   |
| <b>公告方法</b>      | 電子公告 ( <a href="http://www.jcu-i.com/">http://www.jcu-i.com/</a> )<br>ただし、やむを得ない事由によって、電子公告による公告をすることができない場合には、日本経済新聞に掲載して行います。 |   |                 |   |
|                  |   |   | 証券会社等に口座をお持ちの場合 | 証券会社等に口座をお持ちでない場合<br>(特別口座の場合)  |
|                  | 郵送物<br>送付先  |   |                 | 〒168-8507<br>東京都杉並区和泉2-8-4<br>みずほ信託銀行 証券代行部   |
|                  | 電話お問<br>合わせ先  |   |                 | フリーダイヤル 0120-288-324<br>(土・日・祝日を除く 9:00～17:00)  |
|                  | 各種手続<br>お取扱店<br>(住所変更、<br>株主配当金<br>受取り方法<br>の変更等)   | お取引の証券会社等<br>になります。   |                 | みずほ証券<br>本店、全国各支店及び営業所<br>プラネットブース(みずほ銀行内の店舗)でもお取扱いいたします。<br>*カスタマープラザではお取扱いできませんのでご了承ください。<br>みずほ信託銀行<br>本店及び全国各支店<br>*トラストラウンジではお取扱いできませんのでご了承ください。 |
|                  | 未払配当金<br>のお支払   | みずほ信託銀行及びみずほ銀行の本店及び<br>全国各支店<br>(みずほ証券では取次のみとなります)  |                 |   |
|                  | ご注意   | 支払明細発行については、右の「特別口座の場合」の郵便物送付先・電話お問い合わせ先・各種手続お取扱店をご利用ください。<br>特別口座では、単元未満株式の買取・買増以外の株式売買はできません。証券会社等に口座を開設し、株式の振替手続を行っていただく必要があります。 |                 |   |

### 『復興特別所得税』についてのご案内

2011年12月2日に「東日本大震災からの復興のための施策を実施するために必要な財源の確保に関する特別措置法(平成23年法律第117号)」が公布されました。これに伴い、所得税全体を対象として、2013年1月から2037年12月までの25年間、基準所得税額に対し2.1%の『復興特別所得税』が課税されることになりましたので、ご案内申し上げます。  
なお、上場株式等の配当等に関する具体的な税率は、下表をご参照願います。

| 復興特別所得税を加算した<br>上場株式等の配当等に係る税金 |     | 2013年             | 2014年～2037年 | 2038年～ |
|--------------------------------|-----|-------------------|-------------|--------|
| 上場株式等の配当等に係る<br>税金と税率          | 所得税 | 7.147%            | 15.315%     | 15%    |
|                                | 住民税 | 3%                | 5%          | 5%     |
| 合計                             |     | 10.147%<br>【軽減税率】 | 20.315%     | 20%    |

2013年1月以降の所得税率の計算方法 → 2013年1月～2013年12月 ⇒ 7% + 7% × 2.1% = **7.147%**  
2014年1月～2037年12月 ⇒ 15% + 15% × 2.1% = **15.315%**

※上記税率は源泉徴収が行われる場合の税率です。なお、内国法人の場合は住民税が徴収されません。  
※発行済株式の総数等の3%以上に相当する数または金額の株式等を有する個人の大口株主様につきましては、別の税率となりますので、ご注意ください。  
※以上により、2013年1月1日以降にお受け取りになる配当金計算書等について、所得税に関する表記が変更になる予定です。  
※詳細につきましては、所轄の税務署にお問い合わせください。



株式会社 JCU

〒110-0015 東京都台東区東上野四丁目8番1号  
TIXTOWER UENO 16階  
TEL: 03-6895-7001 FAX: 03-6895-7021  
<http://www.jcu-i.com/>

株主・投資家の皆様へ

第53期

# JCU REPORT

年次報告書 (2012.4.1 - 2013.3.31)

Contents

- 1 株主・投資家の皆様へ
- 5 トピックス 深川現地法人の紹介
- 6 特集 高耐食性金めっきプロセス「New STARK BARRIER」のご紹介
- 7 連結財務諸表(要旨)
- 9 セグメント別業績概況
- 10 株式の概況 / 会社概要



株式会社 JCU

証券コード: 4975



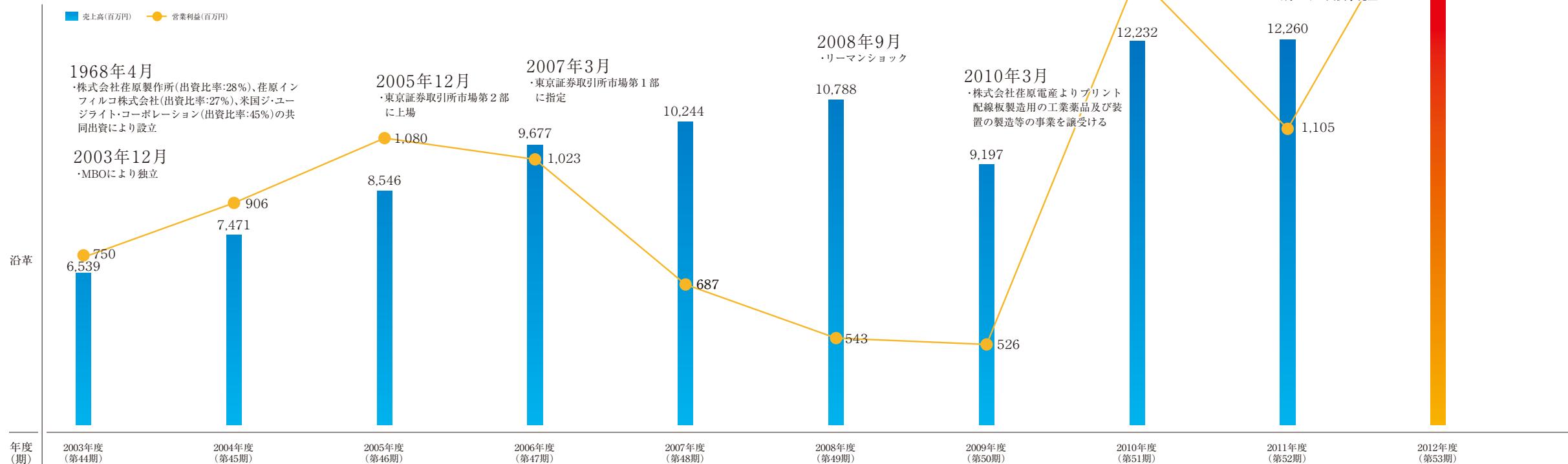
# 株主・投資家の皆様へ 業績の推移



## 売上高・営業利益 ともに過去最高を更新

わが国経済は、東日本大震災の復興需要等を背景に緩やかな回復基調となり、過度な円高も昨年12月の新政権の経済政策への期待から円安に転じ、先行きに明るい兆しが見えはじめております。また、世界経済におきましては、欧州債務問題の長期化や中国の景気減速などにより、先行きは不透明な状況ではあるものの、米国では個人消費の拡大や住宅市場の改善など緩やかな回復基調が続いております。このような状況のもと、当社グループの第53期の業績は、売上高・営業利益ともに過去最高を達成いたしました。

当社は、技術開発力と市場開拓力の向上が成長の両輪であるとの考えに基づき、技術開発では既存の表面処理薬品と装置に加え新規事業にも力を入れ、市場開拓では国内のシェアを維持しつつ海外市場の展開を積極的に推し進めることで、グローバルな「総合表面処理メーカー」として今後もさらなる成長を目指してまいります。



### 【通期ハイライト(百万円)】

■売上高  
**14,581** ↑ 前期比 18.9%増

■営業利益  
**1,807** ↑ 前期比 63.4%増

■経常利益  
**1,902** ↑ 前期比 77.1%増

■当期純利益  
**1,080** ↑ 前期比 46.6%増

売上・利益とも過去最高



代表取締役会長兼CEO 高橋 史郎

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

第53期（2012年4月1日から2013年3月31日まで）の決算についてご報告申し上げます。

当第53期を振り返ってみますと、欧州のソブリン危機、中国の成長鈍化の影響もありますが、米国の消費回復にも支えられ自動車業界及び電機業界ともいずれも好調に推移したといえましょう。しかしながら国内の状況は、昨年末まで続いた極度の円高のために輸出産業は大変な苦戦を強いられました。

### 当社の第53期の業績

このような経済環境ではありましたが、当第53期の決算は売上高145億81百万円（前期比18.9%増）、営業

利益18億7百万円（前期比63.4%増）、経常利益19億2百万円（前期比77.1%増）、当期純利益10億8千万円（前期比46.6%増）といずれも前期の業績を大幅に上回ることができました。

### 国内外の状況

国内の状況について申し上げますと、当社の主要市場であるプリント配線板の業界では円高による海外シフトの影響が大きく、生産量が減少しました。このため、当社の顧客である部品メーカー、めっき専門の会社も同様に仕事量が大幅に減少し、当社のめっき薬品の使用量も前年割れの状況が続きました。今年に入り、アベノミクスによるかつてないような円高も徐々に修正され、株価も上昇していますが、これが製造業の回復につながり、実体経済に反映することを期待したいものです。

海外につきましては、当社が積極的に事業展開をしているアジア地域の自動車、プリント配線板の製造がともに好調でした。とくに韓国、中国、台湾ではスマートフォン、タブレット端末のプリント配線板用の銅めっき薬品の販売が好調であり、業績向上に大きく貢献してくれました。また、自動車向けのめっき装置の販売も好調で、装置事業は過去最高の売上高となりましたが、その

ほとんどが海外向けで、この傾向は今後も続くものと考えています。

### 第54期以降の課題と戦略

当社の海外主力戦略拠点は台湾、韓国、中国、タイでしたが、今後はインドネシア、ベトナム、メキシコが加わり、7拠点となります。当第53期にはインドネシアとメキシコに進出した日系自動車部品メーカーに大型のめっき装置を納入しており、フロントグリルやドアハンドルなどのプラスチック部品へのめっきの量産加工が始まります。めっき薬品も当社製品採用が決定しており、売上的大幅増が期待されます。韓国、ベトナム、メキシコでは薬品製造工場を新設、増設し、供給体制を拡張します。

新規事業におきましては、発売準備を進めておりました貴金属めっき薬品がよいよ中国、台湾で採用される見込みとなりました。これを手がかりにしてさらなる飛躍をしたいと考えております。また、このたび亜鉛めっき薬品大手のディップソール社と業務提携に関する基本合意を行なったことで、今後は海外における亜鉛めっき薬品の販売にも注力いたします。ドライ技術の分野では、高級時計に採用されたスパッタによるカラーリング

事業をさらに発展させるよう努力いたします。また、微細プリント配線板用の前処理に用いるプラズマ装置の連続処理システムも完成し、さらなる拡販を計画しております。太陽光パネルの設置及び販売事業につきましても当第53期には4億円を超える売上高を達成いたしました。[再生可能エネルギーの固定価格買取制度]を背景に第54期はさらに伸ばせるものと考えております。

リーマンショックや東日本大震災以来大きく落ち込んだ日本経済も回復基調となってきてはいますが、いったん海外に流出した仕事はそう簡単には戻ってこないとの前提から、第54期の国内売上高は横ばいと考えており、経営資源をより一層海外に向けて投入し、連結業績の増収・増益を達成する計画をしております。

この計画に基づき、第54期の配当予想を通期で10円増配して90円とさせていただきます。

当社は今後とも、株主・投資家の皆様のご期待に応えるべく経営陣、社員一同一致団結して努力することをお約束いたしますので、相変わらずのご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

2013年6月

～トピックス～

## 深圳現地法人の紹介

深圳現地法人 大野晃宜

### 設立の経緯

深圳現地法人は「荏原優吉莱特貿易（深圳）有限公司」として2009年1月に中国の深圳市宝安区に設立しました。以前は上海現地法人として、自動車部品等に使用される「基幹用」、携帯電話等に使用される「プリント基板用」の表面処理薬品・装置・関連商品の販売を行ってまいりました。さらなるJCUグループの発展のために「選択と集中」の目的を掲げ、上海現地法人から分離・独立する形で、深圳現地法人は「プリント基板用」に特化した販売活動のため設立しました。

### 現在の状況

2013年6月現在、深圳本店、蘇州支店併せて約50名で活動しております。2009年からの業績は好調に推移しております。これは、スマートフォン向けのピアフィリング硫酸銅めっき用添加剤「CU-BRITE VL」の売上が好調なためです。この添加剤は、表面の膜厚を下げビアの中を銅で充填することができるため、銅コストがこれまでの約10～20%下げることが可能となります。月産50,000㎡を生産する工場であれば、1ヶ月約300～600万円のコストダウンが見込めます。

### 今後に向けて

現在、売上の中心は硫酸銅めっき用添加剤ですが、PTH（化学銅めっき）・貴金属・ソフトエッチング用添加剤にも力を入れ、「表面処理のプロ」としてお客様から高い満足度が得られるよう努めてまいります。

### アフターサービス

販売するだけでなく、アフターサービス対応がととても重要で、今後の業績にもつながる部分と考えております。中国では、工場スタッフの入替わりが非常に激しく、不良率が上がる傾向にあります。それを補うためにも当社スタッフが工場に行き、不良率を上げないように技術フォローを行い、その対応をユーザーに満足していただいております。業績が上がれば従業員も多くなり、「従業員の管理が難しいのでは」と思われるのですが、当社は中国にある企業の中でも従業員定着率が非常に良い企業となっております。

### 研究開発

2012年から、研究開発をスタートしました。これは、中国のニーズを日本で開発するのではなく、現地で迅速に開発し市場にいち早く出すことが重要です。現在、4名で各テーマを持って活動しております。



(URL) <http://www.jcu-cn.com/>

特集!

## JCUの技術力

## 高耐食性金めっきプロセス「New STARK BARRIER」のご紹介

### 開発背景

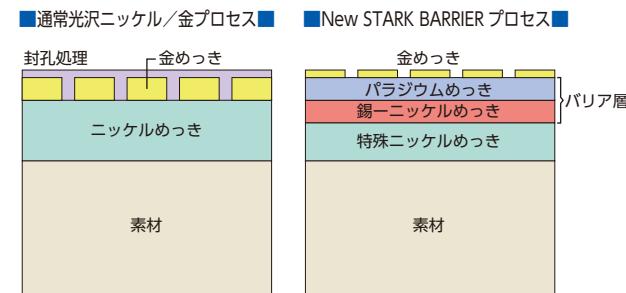
今回ご紹介する高耐食性金めっきプロセスは電子部品、中でもコネクターを対象としたプロセスです。コネクターとは、電子機器と周辺機器とを接続し、電気的に連絡を可能にする接続器のことです。例えば、スマートフォン本体と充電器を接続する部分や、USBメモリと電子機器とを接続する部分に用いられています。これらは用途により金めっきや錫めっき、錫合金めっきやニッケルめっきなど様々なタイプのめっきが施されています。その中でも金めっきは耐食性、耐摩耗性、耐短絡性などに優れており、産業用機器を中心に幅広く利用されています。

しかし、近年、金の価格が高騰しておりコストを低減するために、この金めっきの薄膜化が求められています。ただし、金めっきを薄膜化すると、めっき皮膜の欠陥が多くなり下地の金属が腐食されやすくなるため機能が低下するという問題が起きます。そこで、当社ではこの問題に着目し、高耐食性を確保できる金めっきプロセスの検討を進めてきました。

今回は、この耐食性の向上に成功した金めっきプロセスをご紹介します。

### 皮膜の構成

- 耐食性に優れた特殊光沢ニッケルめっき
  - バリア層（錫-ニッケルめっき/パラジウムめっき：2層）
  - 薄膜生成した金めっき
- ⇒ 挿抜後の耐食性が格段に向上



### 耐食性評価試験結果（硝酸ばっ気試験）

下記は耐食性試験のひとつである硝酸ばっ気試験を実施した結果です。通常の工程では腐食していたのに対し、New STARK BARRIER（以下SB）プロセスでは腐食が見られず、金めっき膜厚0.1μmでも、金めっき膜厚0.5μmに匹敵する耐食性が得られています。また、金属のみでのコストを比較しても、金めっき膜厚0.5μmの場合に比べSBプロセスは耐食性を維持したまま大幅なコストダウンが可能となります。

| 通常ニッケル/金工程            | SBプロセス  | 通常ニッケル/金工程            |
|-----------------------|---|-----------------------|
| ニッケル 1.5μm<br>金 0.1μm | 特殊ニッケル 1.5μm<br>錫-ニッケル 0.3μm<br>パラジウム 0.05μm<br>金 0.1μm | ニッケル 1.5μm<br>金 0.5μm |
|                       |   |                       |
| 腐食発生率：<br>100/100pin  | 0/100pin (腐食無)  | 0/100pin (腐食無)        |

今回ご紹介したSBプロセスは、金めっきの薄膜化（少金化）を実現しながら、高い耐食性を得ることができます。当社は、SBプロセスが今後とも進むと思われる少金化の流れにお応えできるプロセスであると期待しています。

# 連結財務諸表 (要旨)

## 連結貸借対照表

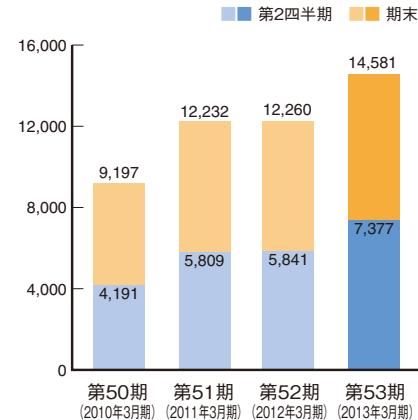
| 区分            | 当期末<br>2013年3月31日現在 | 前期末<br>2012年3月31日現在 |
|---------------|---------------------|---------------------|
| <b>【資産の部】</b> |                     |                     |
| 流動資産          | 10,630,046          | 8,457,489           |
| 現金及び預金        | 4,054,999           | 3,374,538           |
| 受取手形及び売掛金     | 4,152,677           | 3,107,772           |
| 有価証券          | -                   | 73,860              |
| 棚卸資産          | 1,154,410           | 1,112,583           |
| 繰延税金資産        | 329,175             | 235,861             |
| その他           | 973,697             | 580,621             |
| 貸倒引当金         | △ 34,914            | △ 27,747            |
| 固定資産          | 4,766,641           | 4,739,242           |
| 有形固定資産        | 2,991,471           | 3,020,300           |
| 無形固定資産        | 197,396             | 270,866             |
| 投資その他の資産      | 1,577,773           | 1,448,075           |
| <b>資産合計</b>   | <b>15,396,688</b>   | <b>13,196,732</b>   |

(単位:千円)

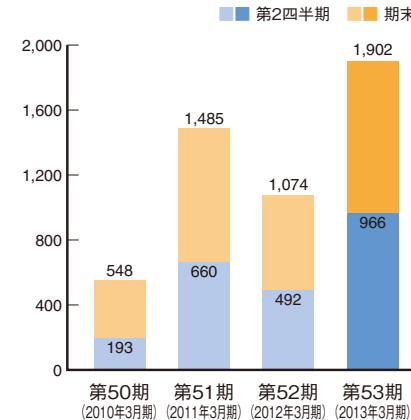
| 区分             | 当期末<br>2013年3月31日現在 | 前期末<br>2012年3月31日現在 |
|----------------|---------------------|---------------------|
| <b>【負債の部】</b>  |                     |                     |
| 流動負債           | 5,607,856           | 4,290,517           |
| 固定負債           | 2,088,847           | 2,649,481           |
| <b>負債合計</b>    | <b>7,696,703</b>    | <b>6,939,999</b>    |
| <b>【純資産の部】</b> |                     |                     |
| 株主資本           | 7,679,282           | 6,827,688           |
| 資本金            | 1,176,255           | 1,176,255           |
| 資本剰余金          | 1,128,904           | 1,128,904           |
| 利益剰余金          | 5,374,342           | 4,522,747           |
| 自己株式           | △ 219               | △ 219               |
| その他の包括利益累計額    | 1,518               | △ 568,151           |
| 少数株主持分         | 19,183              | △ 2,803             |
| <b>純資産合計</b>   | <b>7,699,984</b>    | <b>6,256,733</b>    |
| <b>負債純資産合計</b> | <b>15,396,688</b>   | <b>13,196,732</b>   |

## 財務ハイライト (連結)

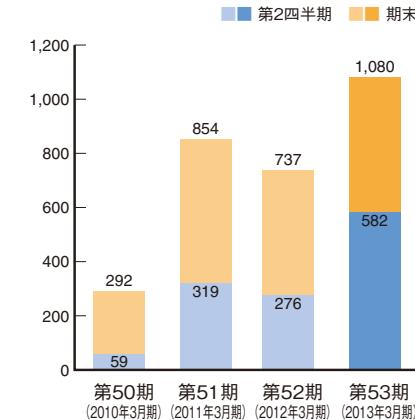
### ● 売上高 (単位:百万円)



### ● 経常利益 (単位:百万円)



### ● 四半期(累計)及び当期純利益 (単位:百万円)



## 連結損益計算書

| 区分             | 当期<br>(自 2012年4月 1日<br>至 2013年3月31日) | 前期<br>(自 2011年4月 1日<br>至 2012年3月31日) |
|----------------|--------------------------------------|--------------------------------------|
| 売上高            | 14,581,371                           | 12,260,485                           |
| 売上総利益          | 7,009,826                            | 5,975,819                            |
| 販売費及び一般管理費     | 5,202,683                            | 4,869,931                            |
| 営業利益           | 1,807,143                            | 1,105,888                            |
| 経常利益           | 1,902,584                            | 1,074,120                            |
| 税金等調整前当期純利益    | 1,802,849                            | 1,068,466                            |
| 少数株主損益調整前当期純利益 | 1,072,619                            | 705,589                              |
| 当期純利益          | 1,080,867                            | 737,143                              |

(単位:千円)

## 連結キャッシュ・フロー計算書

| 区分                   | 当期<br>(自 2012年4月 1日<br>至 2013年3月31日) | 前期<br>(自 2011年4月 1日<br>至 2012年3月31日) |
|----------------------|--------------------------------------|--------------------------------------|
| 営業活動による<br>キャッシュ・フロー | 1,814,311                            | 1,183,378                            |
| 投資活動による<br>キャッシュ・フロー | △ 597,289                            | △ 573,815                            |
| 財務活動による<br>キャッシュ・フロー | △ 988,187                            | 295,333                              |
| 現金及び現金同等物<br>に係る換算差額 | 137,673                              | △ 35,175                             |
| 現金及び現金同等物<br>の増減額    | 366,507                              | 869,720                              |
| 現金及び現金同等物<br>の期首残高   | 3,011,731                            | 2,142,011                            |
| 現金及び現金同等物<br>の期末残高   | 3,378,238                            | 3,011,731                            |

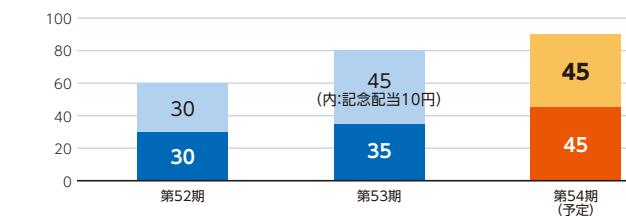
(単位:千円)

## 株主還元について

### 利益配分に関する基本方針

当社は、将来の事業展開と経営体質の強化のために適正な自己資本比率を維持しつつ、業績の状況に応じて配当性向等を勘案し、安定した配当を実施することを基本方針としております。内部留保資金の用途につきましては、今後の事業活動並びに経営基盤の強化に有効活用していく方針であります。

### 配当金(円)



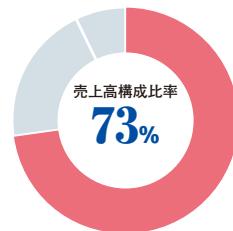
## 株主優待について

当社の株主優待品は3月31日現在単元株以上保有の株主様へ下記のとおり、「ギフトカタログ」をお届けいたしております。



# セグメント別業績概況

## 薬品事業



### 売上高



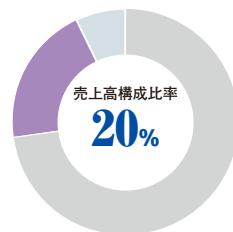
### セグメント利益



### 事業概要

薬品事業では、国内外市場において表面処理薬品の製造販売、関連資材の仕入販売を行っております。当社グループにとりまして、最も重要なマーケットと考えているのは、1つは自動車業界や住宅産業であり、もう1つはプリント配線板や電子部品などのエレクトロニクス業界であります。両分野共に研究開発・アフターサービス体制を整備しており、各業界の大手メーカーを中心に技術動向を把握し、顧客の商品開発やニーズの情報を収集することで、営業戦略構築の礎としております。

## 装置事業



### 売上高



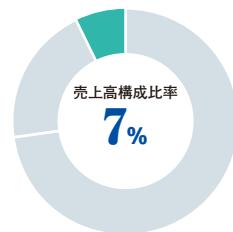
### セグメント利益



### 事業概要

装置事業では全自動表面処理装置及び表面処理装置の付帯機器の製造販売を行っております。長年に亘るめっき装置事業のノウハウを活かし、薬品技術とのシナジー効果による総合力を基礎として、顧客の立場に立った販売活動を実施しております。

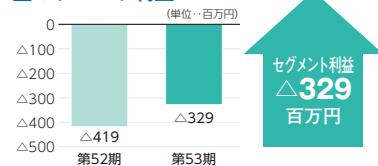
## 新規事業



### 売上高



### セグメント利益



### 事業概要

新規事業では、プラズマ技術を利用したプリント配線板のエッチング及び洗浄用装置の販売、スパッタリング装置による着色(カラーリング)処理、貴金属めっき薬品製造販売、コーティング薬剤の販売、環境関連装置の製造販売を行っております。また、台湾で化粧品の販売も開始いたしました。

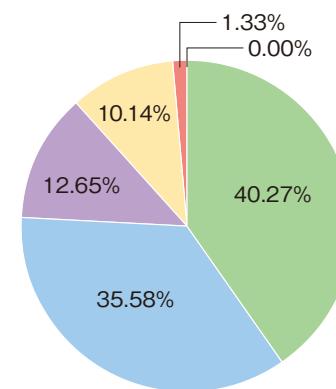
# 株式の概況/会社概要 (2013年3月31日現在)

## ● 株式の状況

発行済株式総数 ..... 3,527,400株  
株主数 ..... 5,528名

## ● 所有者別株式分布状況

- その他国内法人 1,420,700株 40.27%
- 個人・その他 1,255,065株 35.58%
- 金融機関 446,400株 12.65%
- 外国人等 357,945株 10.14%
- 証券会社 47,157株 1.33%
- 自己名義株式 133株 0.00%



## ● 大株主の状況

| 株主名                       | 持株数(株)  | 出資比率(%) |
|---------------------------|---------|---------|
| 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口) | 144,900 | 4.10    |
| 日本パーカラージング株式会社            | 113,500 | 3.21    |
| 日本高純度化学株式会社               | 110,000 | 3.11    |
| 粕谷佳允                      | 103,800 | 2.94    |
| 荏原実業株式会社                  | 100,000 | 2.83    |
| 株式会社S・D・PA                | 100,000 | 2.83    |
| 日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)   | 95,100  | 2.69    |
| 日本化学産業株式会社                | 93,000  | 2.63    |
| 神谷理研株式会社                  | 80,000  | 2.26    |
| 栄電子工業株式会社                 | 80,000  | 2.26    |
| 株式会社ユニゾーン                 | 80,000  | 2.26    |

(注) 出資比率は自己株式(133株)を控除して計算しております。

- 商号 株式会社JCU(2012年10月1日より)
- 本社所在地 東京都台東区東上野四丁目8番1号 TIXTOWER UENO 16階
- 設立 1968年(昭和43年)4月1日
- 資本金 1,176,255,128円
- 事業所 【国内】  
総合研究所 生産本部 大阪支店 名古屋支店 九州営業所

### 【主要な連結子会社】

- ・ JCU(上海)貿易有限公司
- ・ 荏原ユーージャイト貿易(深圳)有限公司
- ・ 台湾JCU股份有限公司
- ・ JCU KOREA CORPORATION
- ・ JCU (THAILAND) CO., LTD.
- ・ JCU AMERICA, S.A. DE C.V.
- ・ JCU VIETNAM CORPORATION
- ・ 銀座鈴蘭堂化粧品股份有限公司(台湾)
- ・ PT. JCU Indonesia
- ・ JCU科技(深圳)有限公司
- ・ JCU(北京)貿易有限公司
- ・ EBARA-UDYLITE AMERICA, S.A. DE C.V.

### 【関連会社】

- ・ PROGRESSIVE JCU CHEMICALS PVT. LTD.
- ・ JCU Nanomate 株式会社

## ● 役員一覧 (2013年6月27日現在)

- |             |        |
|-------------|--------|
| 代表取締役会長兼CEO | 粕谷 佳允  |
| 代表取締役社長兼COO | 小澤 惠二  |
| 専務取締役専務執行役員 | 上谷 正明  |
| 専務取締役専務執行役員 | 君塚 亮一  |
| 専務取締役専務執行役員 | 山本 雅司  |
| 専務取締役専務執行役員 | 中村 憲二  |
| 専務取締役専務執行役員 | 木村 隆男  |
| 取締役常務執行役員   | 小林 幹司  |
| 取締役常務執行役員   | 林 伸治   |
| 常勤監査役       | 大野 寛二  |
| 社外監査役       | 伴 峰夫   |
| 社外監査役       | 高中 正彦  |
| 社外監査役       | 高井 治   |
| 常務執行役員      | 福島 敏明  |
| 執行役員        | 山本 観一郎 |
| 執行役員        | 永井 正志  |
| 執行役員        | 木村 昌志  |
| 執行役員        | 陸 伯 壘  |

## ● 従業員数 連結426名(45名) 単体 245名(12名)

(注) 臨時雇用者数(パートタイマー、人材会社からの派遣社員を含みます)は、年間の平均人員を( )外数で記載しております。